

令和5年度自己評価・学校関係者評価結果公表シート

作成 湊はなぞの幼稚園

1、本園の教育目標

本園では、『子どものためにつくられた、緑豊かな環境の中で、幼児期に最も大切な、望ましい経験を豊かに積むことにより表面的な知識・技能よりも将来よき社会人となる為の人間性の基礎を養いたい。』という根本理念にもとづき、

『豊かな感性と社会性を身につけ自ら考え判断し行動できること』を『教育目標』（3～5歳）にしています。また、その根幹をなすものとして

『基本となる生活を創り、人との信頼感・安心感を育て、興味を持って行動できること』を『保育目標』（0～2歳）にしています。さらに、『教育・保育を連続的・総合的に考え、人格の基礎を育てること』

を幼稚園全体の総合目標として定めています。

また広々とした園庭に動植物と遊具等を程よく配置し、少人数学級編制により子どもたちがのびのびと楽しく毎日を過ごすことができるように環境を大切にしています。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・子ども主体の新カリキュラムの実施。
- ・アフターコロナによる行事のあり方の見直し。
- ・子どもの個別最適な学びを保障するため環境構成を充実させる。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none">・ 毎月第三月曜日に就学前園児を対象に園庭開放を行っている。・ キンダーカウンセラーによる在園児の保護者、地域の保護者を対象にカウンセリングを行っている。・ 親子体験教室を開講し、子育ての手助けや親子ともに楽しむ場の提供を行っている。
教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none">・ 今年度も当園の教育の在り方を体系化したものを見直し、教職員に周知徹底させることによってより、共通理解・共通認識を持つことができた。さらに自己評価課題を課し、適切に評価をすることによって、やりっぱなしではな

	く、自分の現在のレベルを客観的に見つめ自分の反省点を克服し、次の保育に活かすことができた。また新カリキュラムによりドキュメンテーションが自身の振り返りにもつながりよい循環を生み出している
職員の処遇改善について	・処遇改善1, 2, 3により、職員の処遇改善に取り組むことができた。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

令和2年度から子ども主体の保育である新カリキュラムを実施した。新カリキュラムを実施したことに対しては、保護者から定期的にアンケートを取った結果、ほぼすべての保護者が新カリキュラムに肯定的であった。長期的にも支持を得られるようにさらに気を引き締めて取り組み続けなければならない。アフターコロナにおける保育・行事のありようについてはコロナを機に見直す良いきっかけとなったと感じている。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
職員の定着・意識の改革・専門性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・前例主義に陥ることなくいかに新カリキュラムを実践していく意識を培っていけるかに重点をおく。 ・環境構成の大事にもっと意識を向ける。 ・能動的に研修を受ける姿勢を生み出す。 ・最近保育業界は様々な転職サイトや人材不足の影響から転職が多くいかに入職者を当園に定着させるかが重要である。
新カリキュラムの更なる向上	<ul style="list-style-type: none"> ・新カリキュラムはまだまだ4年目で到達度としては50%程度なのでより一層努力が必要である。

6、学校関係者の評価

特に問題点はなく、業界自体に逆風が吹く中でも幼児教育の発展・充実に向けた取り組みに対し、熱心に励んでいる。

7、財務状況

毎年、公認会計士の監査を受け、適正に運営されていると認められている。